一般社団法人 日本経営協会 | NOMA

目的別 / 1日研修

Revised

情報リテラシー研修

～情報を正しく使いこなすために～

➢ 本研修の概要とねらい
①情報に関する様々な制度の活用法を学ぶ。
②情報モラルへの必要性を学び、情報社会の中で安心・安全に行動できるための知識や手法を習得する。
③なぜ情報倫理が必要なのか、倫理とは何かを考え、情報活用能力である【情報リテラシー】を強め、リスクを回避し、情報を正しく使いこなす職員を育成する。

➢ 主なコンテンツ
情報倫理が重視される背景、個人として、組織としての情報倫理、被害者にも加害者にもならないために、情報社会独自のマナーに配慮する、ソーシャルメディアに潜むトラブル事例、リスクマネジメント行動基準フローチャート　など（詳細は裏面のタイムテーブルをご確認ください）

➢ 演習/実習の内容
グループワーク…リスクを減らすための対策を考え、それぞれの所属部署で何ができていないか、その対応策を話し合う

など多数

➢ 受講対象（推奨）

全職員

➢ 講師からの一言
人生で大事なもの“時間”を皆さんと共にしていることを喜び、そして大切にしています。接遇、マナーでは、知識や技能だけにとらわれず、お客様との心の絆を深める想いの伝え方を受講者の方々と一緒に考えさせていただいています。楽しみながら、学びましょう。身につけましょう。

一般社団法人 日本経営協会講師
吉海江 久実代（よしかいえくみよ）

アイク株式会社　不動産担保ローンの営業事務、区民センターのネイルスクール4か月コースにてネイル講師、病院での医療受付・診療補助、独立行政法人での受付事務を経て、現在は研修講師として活躍中。

接遇研修・クレーム対応研修・プレゼンテーション研修・コミュニケーション研修・ビジネスマナー研修・覆面調査・メンタルヘルス研修・ハラスメント研修・部下指導研修・パソコン研修・新人研修・ネイル 等のテーマで出講中。

本講師の他の研修
a.　ハラスメント防止
b.　メンタルヘルス
c.　窓口応対
d.　第一印象向上

情報リテラシー研修

1日研修タイムテーブル案

研修テーマ	主なコンテンツ
1. 情報倫理と情報セキュリティ ①情報倫理と情報モラル ②情報倫理が重視される背景 ③個人として、組織としての情報倫理 ④セキュリティ対策は社会的責任 ⑤個人情報の保護 ⑥パスワードの管理方法の再確認	☞アイスブレーキングと、研修の意義目的の共感共有 ☞情報の価値を推測し、それを自身が利用したときにどのような影響を及ぼすかを考える。
2. ネット犯罪に巻き込まれないために ①インターネットによる人権侵害に気を付ける ②人権侵害があった場合 ③被害者にも加害者にもならないために ④情報社会独自のマナーに配慮する ⑤リスク管理を心がける	☞実際に起きたネット犯罪の事例を使い、対策を考える。チェックシートを使用し、リスク管理について再認識する。
昼食	
3. 組織を強くする情報リテラシーの向上 ①情報リテラシーの意味・定義 ②情報リテラシーの概念の二義性 ③情報機器活用能力・情報活用能力 ④正確な情報を見抜くため ⑤ソーシャルメディアに潜むトラブル事例	☞組織活動で具体的に情報を利用する場面を想定し、情報リテラシーの活用でどのような成果に結びつけるのかをグループで考える。
4. リスクマネジメント ①ヒューマンエラーの視点からリスク発生対策 ②リスクマネジメント行動基準フローチャート ③ハインリッヒの法則と課題発見 □研修総括と質疑応答	☞リスクを減らすための対策を考え、ご自身の部署で何ができていないか、その対応策を話し合う。

■本研修を受講した研修生の感想

- 実際の事例を用いた演習で具体的な内容を学べてよかった。
- 基本的なところからしっかりと教えていただけて良かったです。

■本研修コーディネート担当者からのワンポイントメッセージ

- ペアワーク、グループワークを多く取り入れ、座学・理論に終わらない研修とします。

本研修に関するお問い合わせ

一般社団法人　日本経営協会　関西本部
〒550-0004　大阪市西区靭本町1-8-4（大阪科学技術センタービル）
電話　06-6443-6925　　FAX　06-6441-4319
URL　http://www.noma.or.jp